

平成25年度鳥取力創造運動支援補助金で採択された地域活動の紹介

NPO・ボランティア団体などが自発的に地域の活性化に取り組む活動を支援する「鳥取力創造運動支援補助金」（第1次、第2次募集分）の採択事業のうち、近日中に開催される特にユニークな4事業をご紹介します。

（1）民謡コンクール「第2回貝殻節全国大会」（民謡コンクール「第2回貝殻節全国大会」実行委員会、鳥取市）

「貝殻節」は、江戸時代から昭和初期にかけて日本海沿岸で「イタヤ貝」漁が盛んだった頃に発祥し、現在も歌い続けられている民謡です。愛好家は県内に限らず、全国におられます。

「第2回貝殻節全国大会」は昨年度に引き続き全国から参加者を公募し、「貝殻節の部」と「元唄貝殻節の部」の2部構成で、9月1日（日）に鳥取市民文化会館で開催されます。昨年は2部門合わせて県・内外から141名の方が参加されました。

部門ごとにコンクール審査を行い、総合優勝者には「鳥取市長賞」が授与されます。また競技の幕間には前回優勝者や県内の民謡・民舞の披露も行われます。



◇見どころ◇

昨年は県外からの参加者100名以上が鳥取市内で、宿泊されるなど、貝殻節のみならず、県のPRの機会としても期待される大会となってきています。

◇お問い合わせ先◇

「第2回貝殻節全国大会」実行委員会事務局 電話：0857-22-1516

（2）日本の女子高生とフランスの高校生アーティストが企画・運営するアーティスト・イン・レジデンス「あーとのおまつり計画2013」（あーとのおまつり計画実行委員会、倉吉市）

あーとのおまつり 計画 2013

2013年 夏

フランス人高校生アーティスト レオ・ブラジガンドを招いて

明倫地区にあるゲストハウスで約1カ月間滞在してもらいながら

作品の制作とその発表会、子供たちとのワークショップなどを行い、

地域の人がみんなで一緒にアートを楽しんでもらえるよう計画しています。

これらの事業の企画と運営は、レオと同年代の高校生たちで行っています。

慣れないながらも一生懸命と取り組んでいますので、みなさまの暖かいご支援、応援をお願い致します。

倉吉市明倫地区は、倉吉市の中心部に位置していますが、少子化・高齢化と人口減少が進み、特に若者の減少が目立っています。

この現状を受けて「あーとのおまつり計画2013」は、同じく明倫地区の活性化に取り組んでいる「特定非営利法人明倫NEXT100」と連携し、地域のシンボルである旧明倫小学校の円形校舎（現存では日本で最古級）周辺で、国内外のアーティストを招いての芸術表現活動（アーティスト・イン・レジデンス）を行うことで、地域の活性化を図ろうとするものです。

今年は、女子高生が中心となってフランス人高校生アーティスト、レオ・ブラジガンドさんを招かれました。ブラジガンドさんは旧明倫小学校の卒業生の肖像画や倉吉市の風景、行事を題材にした作品を作っています。

◇見どころ◇

8月12日(月)から25日(日)まで旧明倫小学校校舎周辺や「活動準備室ぼうし」(倉吉市鍛冶町一丁目2825-1)で作品展示が行われるほか、18日(日)には「the Party ～あーとのおまつり～」と題して、地元で活動されているアーティストの発表ステージと屋台によりにぎわいを創るイベントが行われます。

◇お問い合わせ先◇

特定非営利法人明倫NEXT100 電話：0858-24-5137

(3) 「中山間地域における婚活事業のモニタリング」～独身男女が参加しやすく、反応が良い企画は何か??～(特非)むすび 米子市)

少子高齢化・晩婚化が進み、特に問題の深刻な中山間地域においては、地域をあげての婚活イベントも開催されています。

このような現状を受け、「特定非営利活動法人むすび」では「とっとり婚活物語～恋のグリーンウェイブ～」というタイトルで4つの婚活イベントを実施されます。

第1部の「ブルーベリーと恋の収穫物語」は既に7月に開催され、8月以降「ニジマスと恋の捕獲物語」(8月18日(日)南部町)、「埴輪作りと恋の散策物語」(9月7日(土)米子市淀江町)、「ブロッコリーと恋の収穫物語」(10月6日(日)大山町)を順次開催予定です。

男性は開催地域在住者をメインに集め、参加者事前セミナーも行います。イベント内容は体験活動と懇親会を組み合わせ、それぞれの地域の良さに触れつつ、男女がコミュニケーションをとり易いものを目指しています。



◇見どころ◇

単にイベントを開催するだけでなく、4種類のイベントの開催結果や参加者のアンケートから、独身男女が参加しやすく、反応が良い企画は何かなどを検証し、婚活イベントを企画する他団体の参考になるよう情報を公開していく予定です。

◇お問い合わせ先◇

特定非営利法人 むすび 担当 ^{みやもと} 宮本 ^{やすよ} 育代さん 電話：090-9502-1651

(4) 江尾のこだいち踊り伝承保存事業(江府町こだいち踊り同好会、江府町)

鳥取県指定無形民俗文化財である江府町の「こだいち踊り」は、戦により自決した亡き江美城城主をしのび、地元民の感謝、供養の思いと共に500年という長い年月、町内各集落で踊り継がれてきました。しかし、江府町も過疎・高齢化の流れに押され、その伝承が困難になってきています。

そこで、8月17日(土)に開催される「江尾十七夜」において、正調の踊りを映像記録に残し、これにより後継者を育成し、住民の誇りと生きがいであるこの踊りを後世につなげるとともに、地域の活性化を図ろうとするものです。

◇見どころ◇

「こだいち踊り」の正調踊りは、ゆっくりとした太鼓の音、物悲しい調子の唄に合わせて踊られる、ゆったりとした踊りで、その雰囲気は細かい所作や流れるような動きが重要となります。これまでも唄を記録する取組みは行われてきましたが、唄・太鼓・踊りを合わせて記録する試みは初めてのものです。

◇お問い合わせ先◇

江府町観光協会 電話：0859-75-6007

